

四谷の

千枚田だより



第 37 号

手塩かけ稔る稲穂や千枚田
浜松市 木通佳子
秋の風稲穂もたなびく千枚田
蒲郡市 稲名進

お助け隊 景観整備で汗を流す



お助け隊は残暑厳しい九月三日、ふれあい広場の草刈りを行いました。

リーダーの呼びかけで集まったお助け隊のメンバーはお互いに好き勝手な場所に散らばり黙々と草刈りに励む、その姿に「連谷魂をここに見た」感がありました。

草ぼうぼうで貧乏つたらしかった「ふれあい広場」もお助け隊のおかげできれいに除草、整備され、都市から訪れるかた達によい印象を

与える事ができます。

もちろん、作業終了後は例によって「かわきも」をつつつきあい、郷



土、連谷の明日について大いに語り合ったことは、いつも通りです。本当に御苦労さまでした。

また、たのむのん

十一人の児童と十一体の案山子

九月六日(水)、千枚田の学校田へ一人一体の案山子を立てました。

今年以案山子に名札(親子の写真入り)を付けて四谷の千枚田を訪れる人達を歓迎しています。もちろんイノシシやスズメも追っ払うつもりです。

稲刈りは二十八日(木)に行います。



全国棚田サミット

全国棚田(千枚田)連絡協議会主催の第十二回全国棚田(千枚田)サミットが十月六、七日に宮崎県日南市で開催されます。

昨年、鳳来町(現新城市)で開かれた棚田サミットには全国の棚田関係者千百七十名(二日間)が参加され、盛大に開催されました。

四谷の千枚田現地見学会や「念仏踊り」のアトラクションにおける地元対応や連谷小学校の児童が演じた「私達の千枚田」は多くの参加者から絶賛の評価をいただきました。

棚田サミットは、全国棚田(千枚田)連絡協議会の活動の一環として毎年開催され、棚田を生かした活動や保存のための取り組み等を全国に発信する他、中山間地域の自治体間や専門家、NPO法人、各地の棚田保存会等の情報交換の場としての大きな役割を果たしております。

坂元棚田の衆

四谷の千枚田から三十三人も行くでのん・待つどりんやあ

たのむぞん...

三河の山里ツアー記

九月九日、体験ツアー最終回の稲刈り体験と鳳来寺山自然科学博物館見学が行われました。

参加した皆さんも慣れない手つきで稲刈りに挑戦！お百姓さんの大変さを実感しました。

写真の女の子に空気が美味しいし、お米も美味しいから「大きくなったらお嫁においで」と誘ったら「うん」と約束をもらい、その可愛い仕草さに一同大爆笑、なかでもお母さんが「これで美味しいお米が一生、食べられる」と大喜び・



田植え、田の草取り、稲刈りと三回の体験ツアーで昼食を賄っていただいた四名の棚田のおっ母さんの想定以上のもてなしに都市交流の責務を無事、果たすことができました。有り難うございました。



当日、村雲伸一理事から梅酒の差し入れや梅干しのおみやげをいただき参加者から感謝されました。

こども農学校の稲刈り

九月十六日(土)、JA愛知東主催「こども農学校」の稲刈りが行われました。(参加者 五十九名)

段々田んぼに、こども達が田植えた水稲が見事な黄金色に実り、その生長の早さにビックリ・慣れない手つきで稲刈りに挑戦しました。(JAこども農学校とは田んぼ、農園でみんなと一緒にお米や野菜を作っていく学校です)

みんなの奥三河(シリーズ)

十月十四・十五日、県、市経済課と田吾作の協力により「新体験交流ガイド」稲刈り体験と鳳来寺山自然科学博物館見学が行われます。

湧き水

今、山里では人に会うと、おはようより先に「イノシシ」がのん「サル」がのんで一日が始まる。また、「彼処へ出た、此処へ入った」と報告し廻る気徳な人もいる。

夜は夜で千枚田の回りくねった道を軽トラでピーピーパアパア、ラッパを鳴らし、懐中電灯をチラチラ、挙げ句に爆竹をババ バーン・・・夜つびてそれが続き千枚田は賑ぎやかだ。それでもイノシシはちゃんど田んぼへ入る。

げなげな囃

⑮ 薬師様と盆踊り

身平橋の薬師様はやあく思ったより新しいだぞん、ありゃあ昭和二年に小山伊太朗さんとうが発起人で祀ったたぞうな。

その後、観音様が、四年には馬追い衆らが発起人になり、サバ弘法様が祀られ、それを機会に薬師堂を建ったげな。それからあの時分の馬追い衆らが弘法様や盆供養のお世話することになり、代々引き継がれ

てきたげな。

薬師堂を建った初めてのお盆に身平橋の若い衆らが世話人ん処へ行つて盆踊りの庭を借しておくれんと頼んだぞうな。その時、盆踊りをせるこたあ願つてもないことだが、お施主としての「お取りもち(膳出し)まではできかねる。また、継続の有無も若い衆次第」との条件であつただげな。

こんなことをして始まつた薬師様の盆踊りは、どえらい遠くからも踊手が集まり、最盛期には薬師様から学校の運動場まで輪ができるほど賑わつたもんだげな。

そんなこんなしておるうちにテレビが出来たり、遊ぶことがいっぱいできちゃつて盆踊りに来る人もおらんくなつちゃうし、若い衆も減つちやつて平成六年、とうとう一時休止になつちやつただげな・・・もつたないことだのん・・・

宮崎県日南市坂元棚田からの近況

台風十三号は、雨、風とも難を逃れました。サミットには全国の皆さんを心から待つつつど、

古澤町子さんより

行 平成十八年九月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小 山 舜 二